

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【公開番号】特開2013-78609(P2013-78609A)  
 【公開日】平成25年5月2日(2013.5.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-021  
 【出願番号】特願2012-279773(P2012-279773)  
 【国際特許分類】

A 4 5 D 20/12 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 20/12 C

A 4 5 D 20/12 J

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前端に吹出口(8)、後端に吸込口(28)を有する筒状の本体ケース(1)の内部に、送風ファン(3)と、送風ファン(3)を駆動するモーター(4)と、ヒーターユニット(5)とが、吸込口(28)から吹出口(8)へ向かって記載順に設けてあるヘアドライヤーであって、

本体ケース(1)は、光透過性素材で形成されており、

ヒーターユニット(5)の外面が金属製のヒーターカバー(13)で覆われており、

ヒーターカバー(13)の外面を覆う、本体ケース(1)の前部壁面が透視可能で、残る後部壁面にケース内部の視認を遮る本体遮蔽部(59)が形成してあることを特徴とするヘアドライヤー。

【請求項 2】

本体遮蔽部(59)が、本体ケース(1)の外面に塗装を施して形成してある請求項 1 に記載のヘアドライヤー。

【請求項 3】

本体遮蔽部(59)が、本体ケース(1)の外面にグラデーション塗装を施して形成されており、

グラデーション塗装の色調が、本体ケース(1)の前部から後部へ向かって連続して徐々に濃くしてある請求項 2 に記載のヘアドライヤー。

【請求項 4】

本体遮蔽部(59)の前部境界(60)が、ヒーターカバー(13)の後端より前方に位置させてある請求項 1 乃至 3 のいずれかひとつに記載のヘアドライヤー。

【請求項 5】

本体ケース(1)の内部に、送風ファン(3)と、送風ファン(3)を駆動するモーター(4)と、ヒーターユニット(5)が設けてあるヘアドライヤーであって、

本体ケース(1)は、ケース中心軸に沿って複数に分割された分割ケース(30・31)を含んで構成されており、

本体ケース(1)の吹出口(8)に、接合された分割ケース(30・31)の分離を防ぐ固定リング(32)が装着されており、

固定リング（３２）に、吹出口（８）から吹出される空気流を収束ないし拡散する吹出ノズル（９）が一体に形成してある請求項１乃至４のいずれかひとつに記載のヘアードライヤー。

【請求項６】

吹出ノズル（９）が、固定リング（３２）と一体に形成された第１吹出ノズル（４１）と、第１吹出ノズル（４１）の外面に着脱自在に装着されて、第１吹出ノズル（４１）のノズル口（４５）から吹出された空気流を収束ないし拡散する第２吹出ノズル（４２）とで構成してある請求項５に記載のヘアードライヤー。

【請求項７】

第１吹出ノズル（４１）、および第２吹出ノズル（４２）が、それぞれ光透過性素材で形成してある請求項６に記載のヘアードライヤー。

【請求項８】

分割ケース（３０・３１）が、それぞれ光透過性素材で形成されて、固定リング（３２）で分離不能に固定してある請求項６または７に記載のヘアードライヤー。

【請求項９】

ヒーターユニット（５）の外表面がヒーターカバー（１３）で覆われており、ヒーターカバー（１３）の外表面を覆う分割ケース（３０・３１）の前部壁面が透視可能で、残る後部壁面にケース内部の視認を遮る本体遮蔽部（５９）が形成してある請求項６乃至８のいずれかひとつに記載のヘアードライヤー。

【請求項１０】

本体遮蔽部（５９）が、分割ケース（３０・３１）の外表面に塗装を施して形成してある請求項９に記載のヘアードライヤー。

【請求項１１】

本体遮蔽部（５９）が、分割ケース（３０・３１）の外表面にグラデーション塗装を施して形成されており、

グラデーション塗装の色調が、分割ケース（３０・３１）の前部から後部へ向かって連続して徐々に濃くしてある請求項１０に記載のヘアードライヤー。

【請求項１２】

本体遮蔽部（５９）の前部境界（６０）が、ヒーターカバー（１３）の後端より前方に位置させてある請求項９乃至１１のいずれかひとつに記載のヘアードライヤー。